



「電極をここに付けて」と鈴木院長（左）の説明を受ける山本市長（右）

豊橋ハートセンターが新城市に

AED3台を寄贈

医療法人澄心会・豊橋ハートセンター（豊橋市長 大山町、鈴木孝彦院長）

は、16日午後2時30分から新城市役所を訪れ、AED（自動体外式除細動器）3台を山本芳夫市長に贈った。

AEDは、心臓突然死の主な原因とされる心臓の心室細動に陥った人の救命手段として極めて有

効とされる電気ショック装置。

自動化されたAED装置は、昨年7月から一般の人が使用することが許可されており、新年度から県も高校などを中心に246台を設置する計画。

豊橋ハートセンターは、心臓病治療では最高の治療成績で多くの心臓病患

したのに続いて、約30台を地域へ寄贈、1人でも多くの命を助ける手助けをする。

山本市長は、鈴木院長の説明を受けて「こんな軽くて小さな機器で命が助かるのはうれしい。安全・安心のまちづくり

役立つ」と感謝した。寄贈されたAED3台は、同市役所東庁舎1階ロビー、新城文化会館ロビーと同市民病院ロビー

に設置、多くの市民に理解してもらい、いざという時に役立つようにしたいとしている。